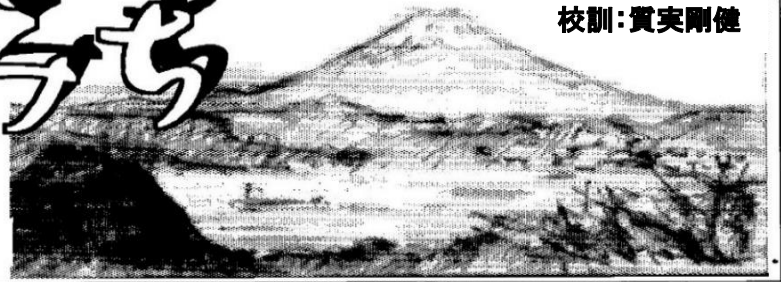


きかみち

令和4年度第4号
校訓: 質実剛健

大島町立第二中学校校報
通巻420号 7月20日



校長講話より

校長 小川 博文

「注文をまちがえる料理店」って聞いたことがありますか。そして、どんな料理店を想像しますか。

その料理店について話す前に、認知症について説明します。認知症は脳の障害で、日常生活や社会生活に支障をきたすようになった状態を指します。様々な症状がありますが、その中の一つに物を覚えられない症状があります。認知症の方が勤めている料理店なのです。再度聞きます。どんな料理店を想像しますか。

注文した料理が本当に届くかどうかはわからない料理店なのです。そんな店大丈夫？と思う人もいるでしょう。この店は、間違いがあっても、お客さんはその間違いを受け入れて、むしろその間違いを一緒に楽しんじやいましょうというイベント型の料理店なのです。この話を聞いた時、なんだか心が温かくなりました。

この料理店を開いた人は、元NHKのプロデューサーの方で、老人ホームの取材をした時に思いついたそうです。取材をした日の献立はハンバーグだと聞いていたのに、餃子が出てきました。その人は、「これ、間違っていますよね？」と言おうとしたのですが、周りのみなさんがおいしそうに餃子をパクパク食べている風景を見て、「あっ、間違いというのは、その場にいる人全員が受け入れてしまえば、間違いではなくなるのだ！」ということに気が付きました。間違いを指摘して正すのではなく、受け入れることで間違いをゼロにしてしまうことに、なんて豊かで、優しい風景なのだろうと感激したのがきっかけで、老人ホームで見たステキな風景を街の中に置きかえようと思ったそうです。

この話を聞いて皆さんはどのように感じましたか。これからも色々なことに感じる心を大切に、見方や考え方を広げる、変えることで、自分の事だけではなく、誰かのためにという気持ちをもって、温かな思いやりあふれる場を作ってほしいと思います。

【標準服検討委員会について】

よりよい社会の実現に向けて、まずは、よりよい学校を創っていこうと、一昨年度より生徒達と我々教職員で学校生活のきまりの見直しをしています。その中の一つに標準服についての見直しがあります。今年度、標準服検討委員会を設置し、保護者の代表として、PTA役員三役の方に委員になっていただいています。先日、教職員による第1回目の検討委員会を開きました。次回、三役の方に参加していただき、引き続き検討していく予定です。ご意見、ご質問等がありましたら、学校までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

学校教育目標： のびやかで、あたたかい心
深く考え、自ら学ぶ力
健やかな身体とたくましい体力

9月の行事予定

日	曜	行事	給食	日	曜	行事	給食
1	木	始業式 避難訓練		16	金	SC	◎
2	金	身体計測(3年) 激励会 SC	◎	17	土	P T A 合同草刈り 9:00～	
3	土	中体連		18	日		
4	日	(中体連予備日)		19	月	敬老の日	
5	月	身体計測(3年)	◎	20	火		◎
6	火	身体計測(3年)	◎	21	水	SC	◎
7	水	身体計測(2年)	◎	22	木		◎
8	木	身体計測(1年) SC	◎	23	金	秋分の日	
9	金	生徒会本部役員選挙	◎	24	土		
10	土			25	日		
11	日			26	月	朝礼	◎
12	月	朝礼 運動会特別時程(始)	◎	27	火		◎
13	火		◎	28	水		◎
14	水	P T A 合同役員会 18:30～	◎	29	木	SC	◎
15	木		◎	30	金		◎

* 8月8日～12日までは学校閉庁日となります。連絡は大島町教育委員会(2-1453)までお願いします。

令和4年度後期 令和5年度前期 生徒会本部役員選挙

選挙管理委員会から、7月11日(月)に生徒会本部役員選挙施行の告示があり、13日(水)に立候補者受付を締め切りました。生徒会本部役員の定数は、2年生2名、1年生2名です。

9月1日(木)に立候補者の発表があり、2日(金)から選挙ポスターが掲示され、選挙活動が始まります。朝の玄関での挨拶運動やお昼の放送での所信表明演説などを通して、やる気や意気込みをアピールしていきます。9月9日(金)に立会演説会、投開票が行われます。

校内研究「自分の考えを深められる生徒の育成

～ 生徒の思考を深めるICTの活用 ～

第2学年 国語科「短歌を味わい、今までの学習を生かして短歌を詠もう」の研究授業を7月6日(水)に行いました。「読み手の心に響く短歌とはどのようなものか考え、次回の創作につなげることをこの時間の目標としました。「2022年編纂 第35回現代学生百人一首」に掲載された作品の特徴や魅力を伝え合うことで、これまでの自分の知識や経験、考えを広げ深め、次回の創作へとつなげました。タブレットを活用して、一人一人の気づきや考えを可視化することができました。

